令和8年度　第2回　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期
1	①食料品の物価高騰に対する特別加算	中学校等給食費補助事業	①食材価格高騰を受け、義務教育を受ける子育て世帯の住民の経済的負担を据え置き、かつ食材の品質等の確保を図る。 ②子育て世帯の住民の負担する給食費（物価高騰対応分）（教職員は除く） ③月額380円×11か月×1,400人＝5,852,000円 ④市内中学校に在籍する生徒の保護者	R8.4	R9.3
2	④消費下支え等を通じた生活者支援	水道事業会計負担事業（令和8年度分）	①物価高騰の影響を受けた生活者や事業所を支援するため、水道料金を減額(8か月間)し、経済的負担の軽減を図る。（交付対象は、公的施設等を除く。） ②水道事業会計の収益補填及び費用補助 ③300,467,288円（基本料金）＋18,786,262円（メーター使用料）＝319,253,550円（内、公的施設等への減額金額9,078,000円（消費税込） 検針用システムプログラム改修業務委託　504,900円（消費税込） 合計319,758,450円 ④蓮田市水道事業	R8.4	R9.3
3	⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業	水道事業会計負担事業（動力費分）	①電力価格高騰により、導水・送水・配水施設におけるポンプの使用や、浄水処理等の過程において多くの電力を消費するため、事業経費が増大し、水道事業経営を圧迫している。そのため、電力価格の高騰分を支援することにより水道事業経営の安定を図る。（公共施設分は除く。） ②水道事業会計の電力価格上昇分の費用補填 ③R3動力費　37,918,167円（実績） R8動力費　52,800,000円（推計） 上昇分　14,881,833円 ≒14,881,000円 ④蓮田市水道事業	R8.4	R9.3
4	⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業	公共施設等光熱費高騰分対応事業	①市内における直接住民の用に供する施設の光熱費が高騰していることに伴い、エネルギー高騰等の影響を受けている施設に補填することによって、施設使用料等に転嫁され、使用者への負担増加が生じることを防ぐ。 ②④における市内公共施設等の光熱費高騰分の経費 ③光熱費高騰前である令和3年度決算額と令和8年度推計額の差額を高騰分として積算する。 公立保育所：光熱水費（予算科目）：22,371,427円（R8推計額）－19,162,372円（R3決算額）≒3,209,000円 総合文化会館：光熱水費（予算科目）：16,028,792円（R8推計額）－12,448,917円（R3決算額）≒3,579,000円 合計：3,209,055円＋3,579,000円＝6,788,000円 ④公立保育所、総合文化会館	R8.4	R9.3
5	④消費下支え等を通じた生活者支援	指定ごみ袋配布補助事業	①物価高騰対策として指定ごみ袋を配布することにより、生活者にかかる経済的負担の軽減を図ることができるため。 ②指定ごみ袋の購入費、配布等に係る業務委託費 ③指定ごみ袋の購入費：480円（単価）×1.1（消費税）×29,500（全戸配布）＝15,576,000円 指定ごみ袋配布業務委託費：1,674,435円≒1,674,000円 合計17,250,000円 ④市民	R8.7	R8.12